

「海の体験活動」で伝統漁法・郷土料理等学ぶ 池間小中学校が学校研究助成金活用

1 活動内容

中学生は、地域の方の協力で船釣り体験をし、小学生はシーカヤックやシュノーケリング、カンカン釣り、生き物観察を行い、さらに、釣ってきた魚を捌き、魚料理の体験活動を行っている。

2 ねらい

- (1) 体験活動を通して、池間島近海でとれる魚などにふれ、魚の種類や海の様子などを知ることにより、ふるさとの良さを再発見させる。
- (2) 池間島に伝わる伝統的な漁法を体験することで、ふるさとの良さを誇りとし、心豊かに生きていこうとする態度を育てる。
- (3) 海や砂浜で保護者や地域の方々と一緒に活動することを通して、ふるさとの良さを知り、池間島を愛する児童・生徒を育てる。

3 体験活動を終えて

「海の体験活動」を通し、島の豊かな自然の中で生き物の恩恵を受け、先人の生きる知恵や自然と共存する大切さなど多くの学びがあった。また、人々の祈り・自然への畏敬の念を学び、故郷（ふるさと）池間の将来を考える機会にもなった。

体験活動後は、地域の一員としての意識が芽生え、地域行事に積極的に参加したり、自ら大きな声であいさつしたり、ゴミ拾いを行うなど故郷（ふるさと）を思う気持ち、「故郷愛」が育っている。

4 おわりに…

今回の「海の体験活動」では、(公財)日教弘沖縄支部の学校研究助成事業のおかげで、保護者・地域・学校が連携し、池間島につたわる伝統漁法や郷土料理体験・シーカヤック体験等が例年より充実され、故郷（ふるさと）の良さを再発見することができました。



シーカヤック体験



釣り体験



魚料理体験

公益財団法人 日本教育公務員弘済会沖縄支部は、「教育の振興」と「教職員の福祉向上」を目的として下記の3大事業を行っています。



1. 教育振興事業

① 奨学事業 ~無利子で奨学金を貸与・給付~



有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付を行っています。

本年度は6月30日(土)に募集を締切り、選考委員会及び幹事会の議を経て日教弘本部へ推薦いたしました。

	平成30年度実績	累計
貸与奨学金	国立私立大学院、大学、短大等の学生に最高100万円を無利子で貸与。 52名 40,750,000円	5,573名 2,620,550,000円
給付奨学金	県内の公立・私立の高等学校等の生徒を対象に給付。(1校3名以内) 275名 13,750,000円	3,447名 172,350,000円



上地支部長(右)が与那覇校長(左)に助成金目録を手渡した
=8月30日、池間小中学校

助成金目録を贈呈

日教弘沖縄支部が池間小中に

日本教育公務員弘済会沖縄支部(日教弘沖縄支部)の加入率は70%余りで、日教弘支部長は8月30日、池間小中学校(与那覇校長)に学校研究助成金5万円の目録を贈呈した。贈呈式で、上地支部長は「学校教育支援事業の財源は、皆さんが加入している教弘保険で発生する契約者配当金であり、それが東京本部から割り当てられる」と述べた。

その上で、「小さい県(沖縄)で、ありながら年間1億2000万円ほどの割り当て財源があり、そのほとんどが学校現場に還元している」と感謝の意を表した。

与那覇校長は、「学校教育を運営していくためには、教材や教員などの環境整備が不可欠である。池間小中学校のような小さな学校は、教育委員会からの予算は他の学校と比べて少ない。子どもたちの学力向上につなげていくためにも、この助成金は有効活用したい」と感謝の意を表した。

宮古毎日新聞 2018年(平成30年)9月1日(土曜日)

② 教育研究助成事業

～教育研究や実践活動の支援～



学校、教職員及び教育関係団体等が行う教育に関する特に有益な研究（活動）に助成しています。
本年度は6月30日（土）に募集を締め切り、選考委員会において選考し、幹事会で決定しました。

◎学校研究助成 66校 6,130,000円 平成30年度実績

No.	学校名	学校長名	研究テーマ
1	名護市立羽地中学校	田中 隆史	校内研修でPDCAサイクルをまわす「S(Study)」に関する研究
2	名護市立大北小学校	宮城 司	自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～国語科における言語活動の充実を通して～
3	名護市立東江中学校	久高 利美子	協同する学びでつなぐ一貫型教育により「自立する学び手」を育成する
4	名護市立名護中学校	平田 修	主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善 ～各教科における「問い」が生まれる授業づくりを通して～
5	伊是名村立伊是名中学校	金城 寛哉	あらゆる困難に立ち向かう高い志をもち、自ら気づき、考え協働して答えを解決する力を身につける
6	大宜味村立大宜味小学校	上間 享	望ましい食習慣を形成するための指導の工夫 ～「長寿の里」の秘密を探る教材の開発を通して～
7	大宜味村立大宜味中学校	比嘉 康博	生徒が主体的に学ぶ授業づくり ～「大宜味中ベシック」の実践をととして～
8	中城村立津覇小学校	田崎 明美	主体的に学び合う児童の育成 ～主体的・対話的な深い学びのための発問と支援の工夫を通して～
9	宜野湾市立嘉数小学校	當山 忠男	自分の思いや考えを適切に表現できる児童の育成 ～国語科における言語活動の充実を通して～
10	宜野湾市立大山小学校	宮城 彰夫	命ど宝の島から共に未来を拓く社会科の授業 ～つなぎつながる学びを通して～
11	北中城村立鳥袋小学校	徳村 直美	主体的・対話的な学びに向かう児童生徒の育成 ～「考え、議論する」道徳の授業をめざして～
12	西原町立西原東小学校	鳥袋 和徳	数学的な思考力・表現力を育む授業づくり ～言葉、数、式、図などを使って考え、表現する活動を通して～
13	西原町立西原南小学校	宮城 優美	「挑戦・継続・夢実現」をめざした確かな学力の向上 ～RPDCA サイクルによる共通実践を通して～
14	宜野湾市立嘉数中学校	仲田 丘	主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指したインクルーシブ教育の推進 ～In-Child Recordを活用した組織的な支援を通して～
15	沖縄県立西原高等学校	儀間 昌子	主体的・対話的で深い学びの実現（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）
16	沖縄県立北谷高等学校	比嘉 正二	職員・保護者共同で行う自己肯定感の向上等を目的としたコーチングスキル獲得のための研修会の実施
17	沖縄県立美来工科高等学校	宮城 淳	課題研究におけるファインパブル(FB)発生装置の試作に関する取り組み
18	沖縄県立宜野湾高等学校 通信制課程	津留 一郎	生徒の「人生を切り拓く学び」の育成を図る学習指導等の工夫 ～「主体的・対話的で深い学び」を図る授業研究・実践を通して～
19	沖縄県立嘉手納高等学校	末吉 康徳	総合学科におけるキャリア教育の推進
20	沖縄県立沖繩ろう学校	幸地 英之	「子どもの思考力、判断力、表現力を育む授業づくり」～幼児児童生徒の実態に合わせた発問の工夫を通して～
21	沖縄市立宮里小学校	宮城 紀士	確かな学力を支える思考力・判断力・表現力等の育成 ～「授業づくりポイント10」を活用した「問い」が生まれる日常の授業改善を通して～算数科
22	うるま市立川崎小学校	伊波 みどり	思考力・判断力・表現力の育成 ～国語科における単元を見通した課題解決的学習と発問の工夫を通して～
23	うるま市立津堅小中学校	大庭 真由美	「関わる」「つながる」学校をめざして（地域・社会との連携のあり方）
24	沖縄市立美里中学校	宮城 康人	学校と地域の協力による生徒ととりく環境の改善
25	うるま市立与那第二中学校	上里 厚	確かな学力の定着を図るための指導法の工夫改善 ～個々の生徒への支援の手立て～
26	沖縄県立与那高等学校	東盛 敬	中高一貫教育による学校活性化及び、豊かな人間性の育成と希望進路実現に向けた取り組みの研究
27	沖縄県立志志川高等学校	上原 昇	高校生としての自覚と自身に満ちた生徒の育成
28	県立沖縄高等特別支援学校	安里 吉実	特別支援教育に於ける生徒の調和的な発達を目指した支援について
29	恩納村立恩納小中学校	宜志富 清博	思考力・判断力・表現力のある児童生徒の育成 ～言語活動を取り入れた授業づくりを通して～
30	那覇市立開南小学校	松田 哲哉	自ら学び 共に考え 未来を創造する児童の育成
31	那覇市立若狭小学校	手登根 宏	学校教育目標を具体化させるための諸活動を有意義に実施する
32	那覇市立安謝小学校	新垣 直昭	思考力・判断力・表現力を育む授業づくり ～算数科「図形」領域の数学的活動の工夫を通して～
33	那覇市立与那小学校	有銘 盛和	花いっぱい運動を通した思いやりの心の育成 ～こども園、地域と連携した環境整備活動～
34	那覇市立大道小学校	田名 真利	授業改善を中心とした学力向上の取組の充実について
35	那覇市立石嶺小学校	砂川 深雪	「読む力」を育む国語科の授業づくり ～「文章の解釈」を中心に据えて～
36	那覇市立宇栄原小学校	儀間 稔	宇栄原っ子一人一人に確かな学力などの生きる力をはぐくむ
37	那覇市立曙小学校	真喜志 昇	運動の楽しさや喜びを味わい、生活に根づく体育学習を目指して
38	那覇市立鏡原中学校	新垣 康史	「思考力・表現力・判断力を育てる「かく活動」の充実」～対話的な学びの工夫を通して～
39	沖縄県立泊高等学校 定時制課程	下地 隆	通級による指導に関わる研究
40	沖縄県立南部農林高等学校	与那嶺 国彦	「学び直し」の科目「ベシック(仮)」の教育課程への導入についての研究
41	沖縄県立浦添高等学校	上原 源三	自主・自立に根ざしたNextStageへの啓発に向けた研究
42	沖縄県立陽明高等学校	知名 朝次	学校の活性化のための広報活動
43	沖縄県立那覇工業高等学校	大城 栄三	技能五輪にかかるスペシャリスト育成を目指した指導方法の研究
44	沖縄県立浦添工業高等学校	玻名城 功	ものづくりを通した「創造的な学習態度」の育成に関する教科指導の研究
45	沖縄県立鏡が丘特別支援学校	新垣 伸次	生徒一人一人の主体性を育む授業づくり ～全国ポッチャ選抜甲子園大会への取組を通して～
46	浦添市立浦添中学校	佐久川 譲治	自ら学習に取り組む、思考・判断・表現できる生徒の育成 ～浦添中授業スタイルによる授業改善を通して～
47	浦添市立浦添小学校	名護 清和	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善とそれを支える支持的風土づくり
48	沖縄県立久米島高等学校	前三盛 英明	生徒の学習の習慣化を図り、基礎学力を高める指導の工夫 ～朝の学習時間を通して～
49	八重瀬町立白川小学校	神谷 勝彦	自ら考えを持ち表現できる児童の育成 ～「説明的な文章」の習得と活用の工夫をととして～
50	豊見城市立豊見城小学校	與那嶺 靖	生き物を大切にすること、優しさや思いやりの心を育てるいじめのない学校にするために
51	波名喜村立波名喜小学校	甲斐 英児	自ら進んで考える力を身につけた幼児・児童・生徒の育成
52	豊見城市立伊良波小学校	金城 光吉	自分の考えを持ち、表現できる児童の育成 ～物語を中心とした書く活動を通して～
53	糸満市立高嶺中学校	長田 宗彦	地域に愛着と誇りを持ち、主体的に行動する生徒の育成 ～劇「南山王國南山王物語」を通して～
54	沖縄県立向陽高等学校	儀間 清浩	向陽高等学校の活性化を図る、理系人材育成特別授業の研究について
55	南城市立大里南小学校	比嘉 清	よりよく生きるための基礎となる道徳性の育成
56	沖縄県立知念高等学校	津波古 廣和	新大入試テスト制度への対応に向けて ～生徒自身による自己分析力を高める試み～
57	宮古島市立池間中学校	与那嶺 淳	海の体験活動の充実 ～補修指導の充実による、基礎学力の向上～
58	宮古島市立上野小学校	本村 晃則	「思考力・判断力・表現力を育てる指導の工夫」～「発問の工夫」を通して「文章の解釈」を深める～
59	多良間村立多良間中学校	松本 尚	キャリア教育の視点を踏まえた「確かな学力」の向上 ～社会に開かれた教育課程の実践を通して～
60	沖縄県立宮古工業高等学校	金城 透	FA 技術を通した魅力ある授業づくりと若年者ものづくり競技大会への挑戦
61	石垣市立大本小学校	知念 克治	「野鳥観察」地域の野鳥観察を通して、野鳥の種類や生態を調べ、地域自然や環境への興味・関心を高める。
62	竹富町立立見小学校	垣花 英正	学びに向かう力を育む指導の在り方 ～自ら「問い」を見出し、「振り返り」のある授業を通して～
63	竹富町立上原小学校	居原 晃	「生まれ育った島が好き」～地域との協働により、伝統文化を継承することのできる児童の育成～
64	竹富町立西表小中学校	宮城 弘之	自主・自立・自律の精神を育む教育活動の工夫と実践 ～15の島立ちに向けた教育活動の実践を通して～
65	石垣市立伊原間中学校	友利 始夫	確かな学力を身につけた未来を拓く生徒の育成
66	竹富町立大原中学校	垣花 正人	郷土に誇りをもち、たくましく未来を生き抜く力を身につけた幼児・児童・生徒の育成

◎へき地学校教育支援事業助成 16校 800,000円 平成30年度実績

No.	学校名	学校長	研究テーマ
1	伊平屋村立伊平屋中学校	与那覇 了	「支えあい、きき(聴・訊)合い、伝え合う」ための授業づくりを目指した校内研修の充実
2	国頭村立安波小学校	大城 武	対話的学びによる思考力・判断力の育成
3	宮古島市立西城小学校	国仲 克紀	筋道を立てて考え、表現できる子の育成
4	宮古島市立鏡原中学校	下地 悦子	豊かな心を育み、地域貢献する「菊づくり」体験学習
5	石垣市立吉原小学校	野原 洋子	思考力・判断力・表現力を育む国語科学学習指導の工夫 ～説明的な文章における言語活動の充実を通して～
6	石垣市立大浜小学校	浦崎 喬	「主体的・対話的な学びを身につける学習指導の工夫
7	石垣市立川原小学校	仲血 涼子	道徳性を育む指導の工夫 ～考え、議論する授業づくりを通して～
8	石垣市立明石小学校	金城 通彦	地域文化へ根ざしたエイサー指導の取り組み
9	石垣市立野底小学校	安谷田正史	今年も校庭を種から育てた花でいっぱいにして!
10	竹富町立小浜小中学校	池田 幸作	離島・へき地における小中併置校の学力向上及び進路に対する研究活動
11	竹富町立黒島小中学校	赤嶺 弘昭	道徳教育と特別支援に関する研修の充実
12	石垣市立八島小学校	吉濱 徳子	自分で考え、仲間と学び合い、共に高め合う八島っ子の育成 ～「創造的に聴く」授業づくりをととして～
13	竹富町立波照間小中学校	嘉良 寧	校内研修における道徳教育の推進
14	石垣市立大浜中学校	島仲 信秀	アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業づくり
15	石垣市立白保中学校	崎山 晃	生徒の自己管理能力の育成をはかるために
16	竹富町立船浦中学校	仲田 欣五	「西表島の開拓の歴史と自然の恵みを学ぶ」総合的な学習をととして

◎教育団体研究助成

30団体 8,220,000円 平成30年度実績

No.	所属所名
1	沖縄県教職員組合
2	沖縄県教職員組合国頭支部
3	沖縄県教職員組合中頭支部
4	沖縄県教職員組合那覇支部
5	沖縄県教職員組合島尻支部
6	沖縄県教職員組合宮古支部
7	沖縄県教職員組合八重山支部
8	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合
9	沖縄県小学校長会
10	沖縄県中学校長会
11	沖縄県高等学校長協会
12	沖縄県特別支援学校長会
13	沖縄県高等学校教頭・副校長会
14	沖縄県特別支援学校副校長会・教頭会
15	沖縄県立学校事務長会
16	沖縄県公立小中学校事務職員協会
17	沖縄県公立小中学校教頭会
18	沖縄県立学校事務職員協会
19	沖縄県高等学校文化連盟
20	沖縄県中学校文化連盟
21	沖縄県高等学校定時制通信制教頭・副校長会
22	沖縄県へき地教育研究連盟
23	沖縄県学校安全教育推進協議会
24	図工・美術会議
25	沖縄県進路指導研究会
26	沖縄県学校体育研究連合会
27	沖縄女子体育連盟
28	いろんな場所で生まれる美術
29	島尻地区小学校国語研究会
30	沖縄県マルチメディア教育研究会

◎教育研究大会助成

3団体 200,000円 平成30年度実績

No.	大会名
1	沖縄県女子体育連盟
2	沖縄県高校生ものづくりコンテスト実行委員会
3	九州高等学校公民科教育研究協議会

教育実践研究論文募集

第26回 教育実践研究論文
締め切り:10月31日

奮って
ご応募ください!!



最優秀賞(2編) 研究助成金(個人15万円・共同20万円) 平成29年度実績

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	那覇市立松川小学校	教諭 我那覇ゆり子	多様な意見を尊重し、合意形式を図る力の育成 ～意見を可視化し、折り合いの付け方を考える話し合い活動を通して～
2	浦添市立仲西小学校	教諭 浦添 充志	主体的な問題解決による科学的な思考力・表現力の育成 ～事象提示による予想・仮説の設定を通して～

優秀賞(6編) 研究助成金(個人10万円・共同15万円)

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	中城村立中城小学校	教諭 我謝 勝美	基礎的・基本的な知識・技能の習得と実践的な態度を育てる授業の工夫 ～学校・家庭・地域のつながりを深める授業実践の展開～
2	那覇市立天久小学校	教諭 春木 明子	言葉で自分の思いや考えを、まとめ表現する力の育成 ～物語文における、教材・人との対話の工夫を通して～
3	久米島町立大岳小学校	教諭 神崎 貴久	自主的・実践的な態度の育成を図る学級活動の工夫 ～体験活動のふり返りを生かした指導の工夫を通して～
4	宮古島市立福嶺小学校	教諭 宮国 康智	文章を「丸ごと読む」力の育成 ～ファンタジー作品『初雪のふる日』の指導を通して～
5	沖縄県立浦添工業高等学校	教諭 新垣 頼子	専門科目と技術習得から実生活で生かす力へ発展させる指導の工夫 ～視聴覚機器(SAT)システムを活用した授業実践を通して～
6	沖縄県立沖縄盲学校	教諭 石原 昌吾	情報収集能力の向上と移動範囲の拡大を目指した取組 ～盲児のiPhoneやiPad touchを活用した校外学習を通して～

優良賞(29編) 研究助成金(個人5万円・共同10万円)

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	石垣市立いのだ幼稚園	園長 吉濱 徳子 教諭 伊良皆恵理 預かり担当 川平 美香	興味・関心を高め知的な気づきを育む保育の実践 ～園庭の草花遊びを通して～
2	宜野湾市立普天間小学校	教諭 上原 玲子	学級風土を整える命の学び ～動物介在教育による合科的な「心の教育」を通して～
3	宜野湾市立大謝名小学校	教諭 城間すみ恵	自閉症・情緒障害特別支援学級および通常の学級における快の共有体験に基づいた自立活動の教育実践研究 ～自閉症スペクトラム児の他者との関係性の変遷過程に焦点を当てて～
4	うるま市立川崎小学校	教諭 宮里 匠哲	理科における「プログラミング的思考」の育成について ～紙芝居プレゼンテーション法を用いた実践を通して～
5	那覇市立開南小学校	教諭 澤紙 秀典	数学的な思考力・表現力を育む指導の工夫 ～思考過程を表現する活動を通して～
6	那覇市立泊小学校	教諭 長嶺文士郎	豊かなスポーツライフを実現する資質や能力を育む指導の工夫 ～「沖縄角力」の教材化を通して～
7	那覇市立松島小学校	教諭 赤嶺 達也	「進んであいさつする子」を育てる児童会活動の取り組み ～あいさつ先取りゲームを全児童・全教師で実践して～
8	浦添市立港川小学校	校長 銘苅 健 教諭 秋堂 友菜	学校経営を通じた地域文化に興味・関心を持つ児童の育成 ～「しまくとぅば」の普及推進と伝統文化に触れる活動を通して～
9	南風原町立津嘉山小学校	教諭 新里 照実	国語科における「語彙力を高め、豊かに表現できる子」の育成 ～単元を貫く言語活動を位置づけた「言語活動の充実を通して」～
10	南城市立百名小学校	教諭 菅野 朋和	数学的な思考力を育む学習指導の工夫 ～「面積」におけるプログラミングを通して～
11	宮古島市立池間小中学校	教諭 上地 洋平	自ら課題をもち、考えを深める児童の育成 ～国語科における学習過程の工夫を通して～
12	宮古島市立東小学校	教諭 平良 優	児童が意欲的に思考する算数科の授業 ～認知心理学の知見を生かして～
13	石垣市立白保小学校	教諭 大城 亜美	幼児教育から小学校へたすきを繋ぐ学習指導の工夫 ～合科的・関連的な学習を通して～
14	伊是名村立伊是名中学校	教諭 島袋 考	支え合い、伝え合う活動を通じた対話的な学習から深い学びへつなげる授業実践 ～誰一人見捨てない授業展開を通して～
15	西原町立西原東中学校	教諭 諸見里明美	言語発達に遅れのある生徒の指導 ～自立活動の指導をして～
16	渡嘉敷村立渡嘉敷小中学校	教諭 宮里 征吾	英語科における自立的な学習者の育成 ～ルーブリックを活用したメタ認知能力の育成を通して～
17	宮古島市立伊良部中学校	教諭 福原 学	生徒の英語運用能力向上をめざして ～教科書を効果的かつ繰り返し使用することを～
18	石垣市立大浜中学校	教諭 岸本 恵一	主体的な学びに向かう授業づくり ～教師と生徒、生徒同士の対話を通して～
19	沖縄県立宜野座高等学校	教諭 比嘉 啓信	主体的・対話的で深い学びの空間を成立させる関係性創造のためのLHR実践 ～認知行動療法的アプローチに基づく心理教育プログラムの利用を通して～
20	沖縄県立沖縄ろう学校	寄宿舎指導員 仲田 智樹 新田 睦月 仲里 正太	多様化する聴覚障害教育において寄宿舎での生活実践から社会参加への意識を育む ～一人一人の実態に応じた生きる力を育む教材を活用した指導実践の工夫～
21	沖縄県立那覇国際高等学校	教諭 仲村渠実一	化学における読み解き力・表現する力を養う指導の工夫 ～ICT機器を活用したアクティブラーニング「10分間チェック」の取り組み～
22	沖縄県立森川特別支援学校	教諭 宮里 修	公民科におけるアクティブラーニング型授業の研究 ～高等学校社会科教育における主体的・対話的で深い学びの研究を通して～
23	沖縄県立大平特別支援学校	教諭 山口 飛	重度重複障害児を対象としたコミュニケーション支援に関する研究 ～モーションヒストリーを活用した動きの評価を通して～
24	沖縄県立宮古特別支援学校	教諭 知念 元喜	将来の自立を見据えた課題解決学習の充実 ～one to oneの環境を活かしたiPad活動を通して～
25	沖縄県立鏡が丘特別支援学校	主幹教諭 前川 考治 教諭 古川ひろみ 玉城 啓	生徒が現在および将来のやりたい事に向かって主体的に行動することを促す授業の工夫 ～「鏡が丘 育てる力の段階表」の作成と活用による伝え合う力と計画力を育成する活動を通して～
26	沖縄県立八重山特別支援学校	校長 大田 幸司 教諭 兼城賢太郎 東盛 揚	「新学習指導要領」へのアプローチ ～八重山特別支援学校キャリア教育のとりくみを通して～
27	沖縄県立八重山特別支援学校	教諭 戸ヶ瀬 哲平	他者との共同を促す、俯瞰を意識した造形遊び ～ドローンを用いた、他者の視点を共有する造形活動を通して～
28	沖縄県立八重山特別支援学校	寄宿舎指導員 奥浜 真和 島袋 千春 仲田 一雲	寄宿舎生活を通して自己決定力を育む ～主体性を重視した寄宿舎行事の取り組み～
29	沖縄県教育庁宮古教育事務所	指導主事 上田 達大	了解し合うための「課題型めあて」と学びを価値づける「フィードバック型まとめ」の試み ～2学年説明文「どうぶつ園のじゅうい」を通して～

※ 校種別学校コード順

③ 教育文化事業 豊かな文化を育むために

◎平成30年度

クラシックコンサート(島尻地区:9校で実施) 6/4~6/8 いっこく堂講演会(宮古地区:7校で予定) 10/29~11/1

- ・座間味小中学校
- ・喜屋武小学校
- ・伊良波小学校
- ・具志頭小学校
- ・白川小学校
- ・佐敷小学校
- ・豊見城小学校
- ・大里北小学校
- ・真壁小学校



- ・上野中学校
- ・伊良部中学校
- ・西辺中学校
- ・池間小中学校
- ・平良中学校
- ・下地中学校
- ・宮古特別支援学校

文化講演会 (第26回教育実践研究論文表彰式において記念講演を予定 平成31年1月27日(日))

2. 福祉事業

※ 会員の福祉の充実に努めています ※対象の会員とは、基本の教弘保険に加入している教弘会員

◎平成29年度実績(23,000,840円)

区分	人数	金額
1.結婚祝金	175人	1,750,000円
2.出産祝金	386人	2,605,000円
3.入学祝金	310人	1,735,000円
4.検診補助	4,328人	12,981,720円
5.宿泊補助	892人	1,784,000円
6.研修旅行補助	37人	720,000円
7.退職会員へ手帳	2,969人	1,425,120円

◆日教弘ライフサポート倶楽部 お問合せ先

「日教弘ガイダンスセンター」
tel:0120-371-969
受付時間 9:30~17:00(土日祝日を除く)

「日教弘ライフサポート倶楽部」
ホームページ <http://www.nikkkyoko.net/>



教弘退職友の会交流会 及び事業説明会予定

教弘退職友の会は2017年10月31日に発足し、「相互扶助の精神に則り、会員相互の親睦を図るとともに会員福祉の増進を図り、(公財)日教弘沖縄支部の発展に寄与する」ことを目的に活動しています。昨年度に引き続き今年度も、2月中旬から下旬にかけて「退職友の会交流会及び事業説明会」を各地区ごとに開催することにしています。ご期待ください。

◎損害保険事業

2018年度加入のご案内

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
www.nikkkyoko.or.jp

教弘まなびやスーパープラン

2018年8月1日始期(保険期間1年)
(2018年8月1日午後4時~2019年8月1日午後4時) **自動更新**

募集期間 2018年6月1日(金)~7月20日(金)
中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の翌1日午前0時~2019年8月1日午後4時

教職員賠償責任保険 + **団体総合生活保険(まなびや)**

- 授業中に生徒がケガ、先生や他人に損害賠償請求。教育賠償金、お見舞金
- 生徒を注視したら人格権の侵害と訴訟を招かれます。
- 約44%割引
- 一方向的にバウハラと訴えられる。争訟費用
- 自転車や他人にケガをさせる。賠償金
- 部活動指導中にケガをする。治療費

2018年8月1日始期(保険期間1年)
(2018年8月1日午後4時~2019年8月1日午後4時) **自動更新**

募集期間 2018年6月1日(金)~7月20日(金)
中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の翌1日午前0時~2019年8月1日午後4時

教弘まなびやスーパープランの特長

教職員業務の遂行に起因した **損害賠償請求に!**

- 1 教職員個人の争訟費用(弁護士費用等)および損害賠償金を補償!
- 2 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償!
- 3 教職員をやめた後になされた請求についても5年間補償!
- 4 初期対応費用も補償!

教育業務遂行中、日常生活の **事故やトラブルに!**

- 1 ご本人のケガを入院・通院1日目から補償します。
- 2 ご本人およびご家族の日常生活での賠償事故も補償!
- 3 生徒の見舞い費用も補償!
- 4 携行品損害・救護者費用等も補償!

加入者資格
公財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方
1. 公立学校の教職員 2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の役員 4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および毎日教弘の本部および各県の職員
6. 1~5の退職者

補償される方の範囲
公財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方
1. 公立学校の教職員 2. 国立学校および私立学校の教職員
(注) 教育委員会・教育事務所等の職員の範囲については、加入できません。

※ 傷害事故については、他の生命保険・火災の給付に関係なく、保険金をお支払いします。 (教職員専用の充実した補償内容です。今すぐ、お電話を!)

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「団体総合生活保険(まなびや)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。 2018年3月作成 事業文書番号17-111978

2018年度加入のご案内

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
www.nikkkyoko.or.jp

教弘フルガード

2018年8月1日始期(保険期間1年)
(2018年8月1日午後4時~2019年8月1日午後4時) **自動更新**

募集期間 2018年6月1日(金)~7月20日(金)
中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の翌1日午前0時~2019年8月1日午後4時

教職員賠償責任保険 + **団体総合生活保険(フルガード)**

- 授業中に生徒がケガ、先生や他人に損害賠償請求。教育賠償金、お見舞金
- 生徒を注視したら人格権の侵害と訴訟を招かれます。
- 約44%割引
- 一方向的にバウハラと訴えられる。争訟費用
- 自転車や他人にケガをさせる。賠償金
- 部活動指導中にケガをする。治療費

2018年8月1日始期(保険期間1年)
(2018年8月1日午後4時~2019年8月1日午後4時) **自動更新**

募集期間 2018年6月1日(金)~7月20日(金)
中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の翌1日午前0時~2019年8月1日午後4時

退職後もご家族もしっかりとお守りします。

- 1 ケガによる1日目からの入院・通院を補償
- 2 天災(地震など)によって生じたケガも補償
- 3 日常生活に起因する賠償責任を補償します。

加入者資格
公財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方
1. 公立学校の教職員 2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の役員 4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および毎日教弘の本部および各県の職員
6. 1~5の退職者

補償される方の範囲
公財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方
1. 公立学校の教職員 2. 国立学校および私立学校の教職員
(注) 教育委員会・教育事務所等の職員の範囲については、加入できません。

※ 傷害事故については、他の生命保険・火災の給付に関係なく、保険金をお支払いします。

このご案内は、「団体総合生活保険(フルガード)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。 2018年3月作成 事業文書番号17-111981

教弘まなびやスーパープラン及び、教弘フルガードに関するお問い合わせ・資料請求先

代理店 (株)沖繩教弘 TEL 098(867)1765 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-7-12
提携・引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社 沖縄支店 那覇支社 TEL 098(867)7733

3. 共済事業(提携保険事業)

※(公財)日教弘では60年以上にわたりジブラルタ生命と提携して共済事業(提携保険事業)を実施しています。

沖縄における60歳以下の教弘保険加入率は全国一です!!

配三金を財源としています。
(公財)日教弘の各種事業は教弘保険の契約者

教職員の皆様と日教弘・ジブラルタ生命との関係



教弘保険

60歳以下の教育関係職員なら誰でも加入できる**教職員相互扶助**の精神に基づく**教職員のための「教弘保険」**です。

34歳以下の教職員のための

ユース教弘保険

(災害割増特約付集団契約特約付勤労保険)

35歳以上の教職員のための

新教弘保険

(集団契約特約付勤労保険)

医療保障

新教弘医療保険α

(無配当)

医療保険(14)(保険料払込中解約返戻金型)

生涯保障+介護保障

新教弘介護保障付終身保険

(無配当)

(介護保障付終身保険/低解約返戻金型)

(注) 新教弘医療保険α、新教弘介護保障付終身保険からは配当金は発生しません。

上記内容は商品の概要を説明しております。

ご契約に際しては共済事業(提携保険事業)提携保険会社ジブラルタ生命の保険設計書(契約概要)および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧下さい。

退職後も教弘保険を継続すると、次の特典が受けられます。

特典1

宿泊補助

特典2

健康増進補助

特典3

「教弘手帳」を贈呈

特典4

普通傷害保険加入資格

特典5

日教弘ライフサポート倶楽部の利用

来春ご退職予定の皆様へ

● 定年退職者向けに、下記日程(予定)で説明会+セミナーを実施

開催日	時間	地区	会場	住所
11月17日(土)	10:00~12:00	八重山	ジブラルタ生命八重山営業所	石垣市浜崎町2-2-5
11月18日(日)	10:00~12:00	宮古	宮古教育会館	宮古島市東仲宗根928-7
11月23日(祝)	10:00~12:00	国頭	名護中央公民館	名護市港2-1-1
11月23日(祝)	14:00~16:00	中頭	ザ・ビーチタワー沖縄	中頭郡北谷町美浜8-6
11月24日(土)	10:00~12:00	那覇・島尻	八汐荘(屋良ホール)	那覇市松尾1-6-1

● 早期退職者向けに、2019年2月に上記同様の説明会+セミナーを実施予定。詳細な日程については今のところ未定。

内容

- ◆「教弘保険」等の退職にあたっての諸手続きについて
- ◆ 心豊かに、そして有意義なリタイアメント・ライフのために

- ①退職後の公的医療保険について
- ②公的年金の手続きについて
- ③公的年金の受給開始について
- ④在職老齢年金の受給開始について
- ⑤住民税の支払準備について
- ⑥年末調整と確定申告について

教弘参事紹介

教弘参事の皆さんが学校等にお伺いして(公財)日教弘沖縄支部の事業内容についてご説明させていただいております。どうぞよろしくお願ひ致します。



仲間 靖

元 開邦高校校長
県立学校(国頭地区除く)担当



大城 覚

元 大宮中学校校長
国頭地区(県立学校含む)担当



伊波シゲミ

元 島袋小学校校長
中頭地区担当



国吉 昇

元 玉城中学校校長
那覇・島尻地区担当



儀間 裕芳

元 宮古教育事務所所長
宮古地区担当



宜野座愛子

元 富野小中学校校長
八重山地区担当

ジブラルタ生命 沖縄支社各営業所連絡先

営業所名	所長名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX
名 護	三 浦 賢 也	905-0021	名護市東江5-11-1 2F	0980-52-2517	0980-53-3045
コザ 第一	内 山 聖 隆	904-2244	うるま市江洲405-1 サンライズ江洲ビル2F	098-974-5231	098-974-5188
コザ 第二	横 田 洲未乃				
沖縄 第一	中 尾 裕 二	900-0006	那覇市おもろまち1-1-2 新都心センタービル 5F	098-860-1271	098-866-5408
沖縄 第二	山 崎 浩 次				
那覇 第三	阿 部 智 徳				
那覇 第四	宮 城 肇				
豊見城 第一	水 野 恵 子	901-0241	豊見城市字豊見城1138 2F	098-850-0805	098-850-0969
豊見城 第二	奥 田 知 義	906-0012	宮古島市平良字西里391 2F	0980-72-1766	0980-75-4717
宮 古 島	川 崎 健				
八 重 山	江 藤 甚之助	907-0013	石垣市浜崎町2-2-5 2F	0980-82-2733	0980-83-1635

こんな時はお電話を

- 病気やケガをされた場合
- ご契約の内容を変更したい場合
- ご登録いただいている内容に変更があった場合
- 保険証券をなくされた場合

その他、お気軽にご相談ください。

教弘保険に関するお問い合わせは、教職員専用ダイヤルへ

各種お問い合わせは、ジブラルタ生命コールセンターまで

教職員専用
通話料無料

0120-37-9419

受付時間

平日 8:30~20:00 土曜 9:00~17:00(日・祝を除く)

※この他に一般顧客用0120-37-2269もご利用ください。

※この他に一般顧客用0120-37-2269もご利用ください。

この「きょうこう通信No.017」を
お届けしたのは

営業所

です。

どうぞご覧ください